

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力で上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

送信先 : report@r-ict-advisor.jp

報告日 令和4年10月27日

派遣決定番号

報告回次 3日目

令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	豊山町			代表者名	加藤 義紀
担当者部署	企画調整部			連絡先電話番号	0568-28-0939
担当者役職	グループ長	担当者氏名	高木 久徳	連絡先E-mail	
住所	480-0292 愛知県豊山町大字豊場字新栄260番地				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	廣川 聰美
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようによろがよかったです等詳細に）	自治体DXを推進していくなければならない背景や自治体DXの意義、自治体が抱える課題、DXの進め方、推進体制や役割分担など職員に分かりやすく講演して頂いた。
アドバイザーへの要望事項	

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり		
	令和4年10月20日	講演(実地)	無		
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
			10時00分	15時30分	90
				活動時間（分）	240
3-2. 派遣場所	会場名	豊山町役場	最寄駅	名古屋駅	
	所在地	愛知県西春日井郡豊山町大字豊場字新栄260番地	最寄駅からの交通手段	バス	

4. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 ○掲載可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good_practices/past_year_all_houkoku/

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員	47 人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	DX推進には、全庁的な機運醸成が必要である。現状は、職員のDXに関する知識が乏しく、職員一人一人がDX推進の担い手であるという意識が低い。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	職員一人一人がDXに関する知識を深め、また、DX推進の担い手であることを理解する。	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	①自治体DXの背景 ②自治体DXとは? ③DXの推進事例 ④DX、何から着手? ⑤DX実現のための取り組み	

	以上項目で講演して頂いた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	全職員がDXに関する知識を得ることができた。 職員一人一人がDX推進の担い手であるという機運の醸成ができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑤組織業務改善ができた DX推進の機運醸成
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特にない	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 質疑応答は行ったが、アンケートは実施しなかった。	④予算以外で、今後取組む事項がある 職員一人一人がDXに関する知識を深め、また、DX推進の担い手であるという意識を持つこと
5-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい	
事業の最終的な目指す姿		

未記入のセルが有ります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認下さい。

なお「その他」を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

1-1.

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



